

トキ 野生復帰にむけて

118



トキふれあいプラザ生まれの 幼鳥の愛称が決定しました

今年4月に、トキふれあいプラザで誕生したトキ3羽の愛称が決定しました。全国から4000通を超えるご応募をいただき、その中から選考し、3つの愛称に決定しました。

3羽の見分けは、専門家でも難しいですが、この機会にぜひトキふれあいプラザへご来場いただき、幼鳥の見分けに挑戦してみてください。

今回決定した愛称については、同一の愛称が複数ありました。要綱に基づいて、同一愛称応募者の中から、最優秀賞を抽選で決定しました。また、同一愛称を応募された方は、優秀賞としています。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）
☎24—6040
トキふれあいプラザ
☎24—6550

愛称		
		
最優秀賞 うみ	最優秀賞 つなぐ	最優秀賞 ときわ
新潟県 親松さくら様	福岡県 入濱 直美様	新潟県 阿部 順子様
雄太の字のまんなかの「う」と、すみれの字のまんなかの「み」を合わせて	人と人、人と自然（生物）をつなぐ使命のベイビーちゃんとして	ときわ丸就航の年に誕生したから
愛称の説明		

地域おこし協力隊の活動を紹介します



おがわ かなこ さん
小川 佳奈 さん

配置地区 新穂地区
配置時期 平成25年10月7日着任
出身地 神奈川県横浜市
佐渡市・配置地区の印象

佐渡は母の実家で、幼少時から親しみがありました。移住して初めて、この島がこんなにも多様な島であることを知りました。

新穂では、山々を背景に田んぼが広がる風景に癒されています。新穂は穏やかな人が多く、でも熱い想いを秘めているように感じます。

配置地区（新穂地区）での活動等

まず、新穂にある団体や組織の方々とお会いし、自分に何ができるのかを模索することから始めました。特に農業に関心があり、昨年は新米キャンペーンで首都圏へ販売促進に行ったり、今年には朱鷺認証米の田植えや除草を、島外からいらした方々で行ったりました。

7月には、私の出身地で佐渡の写真展と物産展を協力隊物販班で企画開催しました。また、8月の新穂ふるさと夏祭りでは、チラシの作成や当日の司会など、新穂商工会やJA新穂支店の皆さんと共に、私も楽しみながら参画させていただきました。

こうした佐渡での実体験を、ブログや月1回発行している手書きの瓦版で発信しています。

今後の抱負

来月で新穂に来て1年が経ちます。いつも自分にできることは何か、何が求められているのか、悩みながら活動をしています。

今後は、3年後の定住を視野に、「自分が佐渡で、新穂で何がしたいのか」も念頭に置きつつ、日々の活動をより楽しく充実したものにしていきたいと思っています。

◆市役所地域振興課地域振興係
☎63—4152